



学校だより

北の子通信

秦野市立
北小学校
5月号

令和8年
5月1日

自主的に学びたくなる授業づくり

新緑が眩しい季節になりました。校庭から子どもたちの弾む声が校長室まで届いてきます。子どもたちと先生方もお互いの距離を縮めて、豊かな授業づくりがスタートしました。

今年度、新しいクロームブック端末が全員に配付されました。各学年の実態に応じて最大活用できるように指導していきたいです。特に4・5・6年生のクロームブック端末の機能の一つに「みらいシード」というアプリがあります。みらいシードには「ドリルパーク」という機能があり、朝・昼のモジュール学習時間等で繰り返し活用し各教科の習熟を図ります。また、「テストパーク」という機能は、これまで購入していただいていたテストの代替になるものとして活用を検討しています。保護者の購入負担、先生の採点業務負担を減らせる効果があります。「テストパーク」はCBT化されており紙面で表示することなく、端末上で結果を伝え、テスト直し等の振り返りができます。その後担任が「公開」ボタンを押すと保護者に通知される仕組みのようです。

今回私たちが大切にしていきたいことは、学習内容をどんな方法で評価するのかを明らかにし、保護者や地域の皆さまと共に、北っ子の学力向上に努めていくことです。すでに北小は3年前から高学年理科はテストをCBT化しており、北中と連携したシラバス（授業計画書）で説明しています。それに準じて各学年の評価方法の概略は以下のとおりお示しします。各学年の発達の段階や教科によって、紙面によるテストも活用する等差異はありますが、まずはできるところからチャレンジさせていただきたいです。

評価方法/あゆみ観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テスト	◎	○	○
ノート・プリント	△	○	○
提出物	△	○	○
授業の取り組み	△	○	○

※年間指導計画等は順次本校HPで閲覧できるようにしていきます。